

キーワード

3 思考力・判断力・表現力（活用型学力）の育成

標 題

- 1 活用型を目指した新しい教材や実践（地域教材、合科型授業、プロジェクト型授業）を開発し、子どもたちの興味や関心を高める。
- 2 誰にもわかりやすい、ユニバーサルな授業、学び合いの工夫を行う。
- 3 家庭学習の現状を調査・研究し、効果的な家庭学習の方法や内容を研究する。また、家庭学習を生かした活用型の授業実践を研究する。

①学校の概要（平成25年5月1日現在）

・児童生徒数 691名 ・学級数 23 学級 ・教職員数 60名

②取組を始めた経緯

本校生徒は、向上心旺盛で規律の遵守性も高いが、コミュニケーションが苦手な人間関係に乏しい生徒も見られ、学力にばらつきもある。また、保護者の価値観も多様化している。平成20～22年度「学力向上実践研究に係る推進校（文部科学省指定）」を受け、基礎・基本の一層の定着と思考力及び説明力・表現力を高める指導方法・教材等の工夫を目指して取組を進めた。以後、研究を継続発展させることを目指している。

③取組の実施体制

管理職、研究部を中心とする研究推進委員会のもと、3部会制を採用し取組を進めている。3部会にはすべての教職員が学年・教科を越えて所属し、定期的に研究を進めている。今年度は、3部会を修正し、①新教材・実践開発部会、②ユニバーサルな授業開発部会、③家庭学習開発部会を設けて、活用型学力（思考力・判断力・表現力）を高めるための実践研究を進めている。

④学力向上に向けた具体的な取組

- 1) 全国学力学習状況調査、岡山県学力調査、標準学力調査、QU等学力調査を活用し、北陵中生徒の学力分析と課題の明確化
- 2) 教職員を対象にしたアンケート調査(生徒の実態について、研究したい内容について)
- 3) 1)と2)についてまとめたものを教職員で共通理解
○学力調査の分析と、教職員アンケートをもとにして、研究主題の見直しと重点目標、研究の視点を決定した。
- 4) 3部会制を採用し、継続的な研究を進める
○3部会内の学年・教科横断型小グループを中心として、研究を進めている。
○夏休み中の校内研修で、3部会の取組の中間発表を行う。
- 5) 年間3回の授業研究会を中心とする授業公開
○今年度は第1回9/12(木)、第2回11/15(金)、第3回2/21(金)に開催
○2学期に、3部会各部会ごとの授業公開週間を設け、授業公開、研究協議、VTR撮影による全員協議を行う。
- 6) 外部講師の招聘による外部評価の導入
○大阪教育大学 木原俊行教授に2回来校をお願いしている。
- 7) 教職員による「一人1レポート集」の作成(実践の成果と課題をまとめる)
- 8) 研究視察と視察内容報告
- 9) 研究だより「絆」を中心とした研究の共通理解

⑤取組の成果と課題

昨年度末に、学力調査の分析と共通理解、教職員アンケートを実施し、今年度の研究の方向性を整理、共通理解した。そのため、3部会を修正し、本校教職員の共通理解のもと研究体制をスタートできている。また、各部会の研究の取組を交流するため、中間発表日（8/6）に向けて準備が進められている。

今年度は、校舎耐震工事に伴うプレハブ移転の関係で、1学期の授業研究会が実施できなかったが、2学期以降の授業研究会に向けて準備を進めていく予定である。

⑥取組の継続・発展の要因

学力調査等による生徒の学力の実態把握と教師の生徒理解による生徒の課題を共通理解することにより、教職員の課題解決に向けたモチベーションが高まっていると考える。授業研究で、先生方が挑戦的な授業実践を積み上げているため、生徒の興味関心を高める授業モデルが豊富である。学年・教科横断型の研究組織を中心に授業づくりを行い、様々な教科の指導案に触れ、教師の授業実践力が高まっていることも一因にあげることができる。また、外部講師による的確な評価が与えられ、教師の意欲が喚起されている。

⑦管理職・中核教員等のアクション

学校経営計画や年間計画づくりにおいて、研究推進の重要性を十分周知していただき、教職員の研究に取り組む意識を継続的に高める努力をしている。さらに、情報収集に熱心で、先進的な取組や学力向上に関する情報提供が適切である。また、現在、小中連携を進めるため、北陵中学校区内の小中学校への働きかけが意欲的に進められており、全国的に先進的な取組を進めている地域の教育視察や情報交換が進んでいる。

⑧資料・写真等



北陵中学校研究だより 平成25年6月12日(水)

絆 一筆ごう研習の記録簿

本日(6/12)の研修の記録

授業研究会に出席しました。1学期も終わりの整理活動でした。学力向上に向けて、子どもたちが楽しく学習できるように、今年度授業研究会の進め方をお話ししました。本日の研修内容は、以下のようになっています。お楽しみください。

15:30 研修のめざすこと(講師:パソコン教室)
 基礎研修ソフトの使いかた(講師:パソコン教室)
 ※研修費(研究だより、筆記用具、飲み物等)

16:20 三部会グループ研修
 (講師:新教材(3-3)、ユニバ(3-2)、道徳(3-1))
 ① 各部会、以下の内容について研修計画を立てます

1 三部会グループ研修 全席研修後の研修会に分かれて
 ※以下の流れに沿って研修を進めていきます。
 講師は各部会のリーダー(講師、山手)でお話しします。

② 各自お話ししたグループメンバーの発表
 ③ 三部会研究の目標設定、各グループ代表者の決定

＜研 習＞

＜すべての部会において共通目標＞

① 学力向上(学力や理解力)を高める「教材研究(授業づくり)」を進める。
 ※「教材研究(授業づくり)」については、各部会の場で研究を進める。

＜各部会の目標＞

- 新教材・新指導法研究会
 - ① 学力向上(学力や理解力)を高めるための、目標と達成するための教材や授業実践
 - ② 資料やプロジェクタ等の活用、授業の工夫
 - ③ 各教科の単元計画を検討し、学力向上を高める効果的な授業実践を考案する。
- 【各グループで取り組むポイント】① 各教科の目標設定 ② 教材研究
- ユニバグループ研修研究会
 - ① 学力向上(学力や理解力)を高めるための「教材研究(授業づくり)」の作成と進捗の把握
 - ② 各教科の単元計画を検討し、学力向上を高める効果的な授業実践を考案する。
 - ③ 各教科の単元計画を検討し、学力向上を高める効果的な授業実践を考案する。
- 【各グループで取り組むポイント】① 各教科の目標設定 ② 教材研究 ③ 学力向上
- 道徳学習研究会
 - ① 道徳学習の意義を認識・理解し、効果的な道徳学習の進め方や実践を研究する。
 - ② 道徳学習を生かした効果的な授業実践を研究する。
- 【各グループで取り組むポイント】① 道徳学習と効果的な道徳学習 ② 道徳学習